

食品ロス・家庭ごみ削減促進事業

1 事業の概要

食品ロスを中心とした家庭ごみの削減を図るために多方面からの啓発事業を行う。

2 令和2年度実績

① 事業系食品ロス削減モデル事業

○マッチングシステム事例の情報収集調査、構築検討

他県等の事例を調査し、活用の可否を検討するとともに、自立的継続的なマッチングシステム構築を検討した。

○食品ロス削減検討会、ワークショップの開催

食品関連事業者がフードバンクを利用する際の課題を整理し、フードバンク利用の意識を醸成するためのワークショップや検討会を開催した。

*食品ロス削減検討会（食品関連事業者、フードバンク、学識経験者等13名参加）

・令和2年7月17日（金）

・令和2年9月1日（火）

・令和3年2月5日（金）

*食品ロス削減ワークショップ（食品関連事業者、フードバンク等22名参加）

・令和2年8月28日（金）

○食品ロス削減シンポジウムの開催

食品ロスに対する理解を促進し、県全体として食品ロス削減の気運を醸成するため、食品ロス削減の日である10月30日にシンポジウムを開催した。

・参加者（会場：51名、Web：55名）

② 地域を学んでのこさずたべよう事業

若い世代の食品ロス削減意識の醸成のため、食品がつくられるまでの労力や食品がうまれてくる地域の土壌・気候・風土等に係るフィールドワークでの研究、若者の視点や発想を生かした小学生が取り組みやすい教材の作成及び小学校への出前講座等について、大学の研究室等が行う研究活動を支援した。

○美作大学【津山市立広戸小学校】

○くらしき作陽大学【玉野市立日比小学校】

○ノートルダム清心女子大学【赤磐市立城南小学校】

③ 食品ロス削減月間キャンペーン

「学ぼう！減らそう！食品ロス！」をテーマに、県民にとって親しみやすく、食品ロス削減の重要性について理解と関心が深まり、削減に自主的に取り組ん

でいただけるような普及啓発事業を実施した。

- ・藤原しおりさんが先生となり、Web上で食品ロスに関するレッスンやテストが受けられる「岡山県下一斉テスト」の実施等（テスト参加者数：2,028名）

- ④ **食品ロス削減ヒント集「食品と家計のもったいないを減らそう！」改訂版**
各家庭で食品ロスを減らすポイントとなる「買いすぎず」「使いきる」「食べきる」の3つの切り口で具体的なアクションを分かりやすく記載した小冊子の改訂版を作成した。

3 担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班